



shaping tomorrow with you

FUJITSU Software ServerView® Suite を使おう！

－シナリオ 2：ハードウェア異常監視②（ハードディスクの詳細確認）－

対象製品：ServerView RAID Manager

2013 年 12 月
富士通株式会社

改版日	改版内容
2010. 2	新規作成
2011. 3	ServerView Operations Manager V5.0 に対応
2011. 8	富士通社外公開用の文書フォーマットに変更
2013.12	2013 年 12 月版の FUJITSU Software ServerView® Suite に対応

はじめに

FUJITSU Software ServerView® Suite は、PC サーバ FUJITSU Server PRIMERGY に標準添付されている、サーバ監視・管理ソフトウェアです。FUJITSU Software ServerView® Suite を使用することにより、サーバ管理者は、システム異常時の迅速な対応や原因の究明ができ、またシステムの安定した運用や管理が可能になります。

本資料の目的

本資料は、FUJITSU Software ServerView® Suite を用いたサーバ監視・管理作業の中から、代表的な作業の設定方法を、シナリオとしてご紹介するものです。

シナリオには以下があります。必要に応じて参照してください。

シナリオ No：タイトル	内容
0： ServerView Operations Manager のインストール方法	ServerView Operations Manager / Agents のインストールを説明しています。
1： ハードウェア異常監視① （メール通知等の設定）	ServerView Event Manager による、メール等での異常通知方法を説明しています。
2： ハードウェア異常監視② （ハードディスクの詳細確認）	ServerView RAID Manager による、ハードウェアの異常監視方法を説明しています（本書）。
3： CPU 負荷率の監視	ServerView Threshold Manager による、CPU 負荷率の監視方法を説明しています。
4： スケジュール運転	サーバ起動・停止のスケジューリング設定方法を説明しています。
5： CPU 負荷率やメモリ利用率、消費電力などのデータ採取	ServerView Performance Manager によるシステムの負荷状況、および ServerView Power Monitor による電力消費量の監視方法を説明しています。
6： 自動再起動 （ServerView ASR&R）	ServerView ASR&R による、正常起動の監視、および異常時の自動再起動の設定方法を説明しています。
7： ハードウェア状態の比較による、異常原因究明	ServerView Archive Manager による、ドライバ更新などのログ採取と、ログの比較によるエラー原因究明の方法を説明しています。

本資料におけるシステムの前提条件

本資料は、以下の環境を前提としています。サーバ機種の違いや、ServerView Operations Manager および ServerView Agents のバージョンの違いなど、異なる環境では操作方法や動作が異なる場合がありますので、御了承ください。

項目	内容
管理サーバ	PRIMERGY RX300 S6（アレイタイプ）
監視対象サーバ	PRIMERGY RX300 S6（アレイタイプ）
管理クライアント	FMV-S8245
サーバ OS	Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard
クライアント OS	Windows Vista® Business
Web ブラウザ	Windows® Internet Explorer® 8.0
ServerView Operations Manager	Version 5.11.2010 ※最新 Version 6.21.2013 と同様手順
ServerView Agents	Version 5.11.2010 ※最新 Version 6.21.2013 と同様手順

本資料を利用するにあたっての前提知識

本資料を利用するにあたって、以下の技術情報についての知識が必要となります。

- ・ PC サーバに関する一般的な知識
- ・ Windows®、Linux などの OS に関する一般的な知識
- ・ ネットワークに関する一般的な知識
- ・ FUJITSU Software ServerView® Suite に関する基礎知識

本資料を活用するにあたっての留意事項

本資料は、2013 年 12 月現在の情報を元に作成しています。最新の FUJITSU Software ServerView® Suite の情報については、各製品のマニュアルを参照してください。

本資料では、ソフトウェア名称などを、以下のように略称で呼ぶことがあります。

正式名称	略称
ServerView Operations Manager	SVOM
ServerView Installation Manager	SVIM
Remote Management Controller(iRMC)	iRMC

はじめに	3
1. サーバ監視・管理のシナリオ	6
1.1. シナリオ 2：ハードウェアの異常監視	7
1.2. マシン構成	8
2. サーバ監視・管理の設定	9
2.1. ハードウェアの異常監視	9
2.1.1. ServerView RAID Manager を用いた監視	9
免責事項	11

1. サーバ監視・管理のシナリオ

FUJITSU Software ServerView® Suite は、サーバに異常が発生した場合はもちろんのこと、通常の運用時においても、PRIMERGY を用いたシステム運用を助ける様々な機能を持っています。

FUJITSU Software ServerView® Suite を利用して行う監視・管理は、以下の 7 種類に大別できます。

- ・ 異常を通知する（シナリオ 1）
- ・ 異常を検知し、対処する（シナリオ 2）
- ・ ハードウェアの日常的なパフォーマンスを監視する（シナリオ 3）
- ・ 運用タスクの自動化設定（シナリオ 4）
- ・ システムの性能データ監視（シナリオ 5）
- ・ 障害時の自動対処（シナリオ 6）
- ・ 障害原因の究明（シナリオ 7）

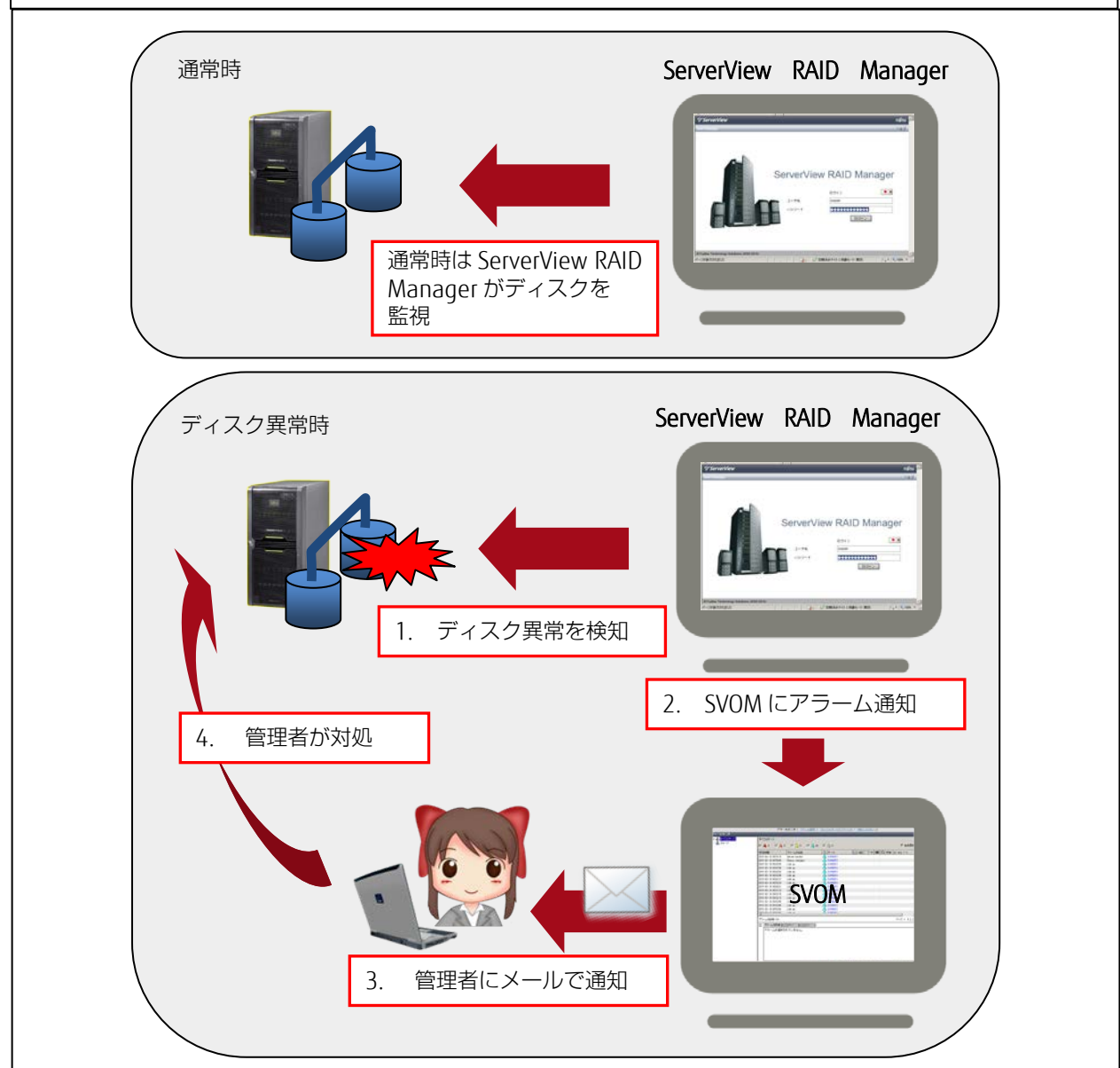
本資料では、「異常を検知し、対処する」シナリオを用意し、その設定について説明します。

1.1. シナリオ 2：ハードウェアの異常監視

ServerView Operations Manager は、ハードウェアから通知される異常アラームを受け取ることで、サーバのハードウェア全体を監視できます。ここでは、ハード監視の一例として、アレイ構成されたハードディスクの監視を取り上げます。アレイタイプの PRIMERGY に標準搭載されている ServerView RAID Manager は、ServerView Operations Manager と連携してディスク異常を通知するため、管理者は迅速な対応が可能です。

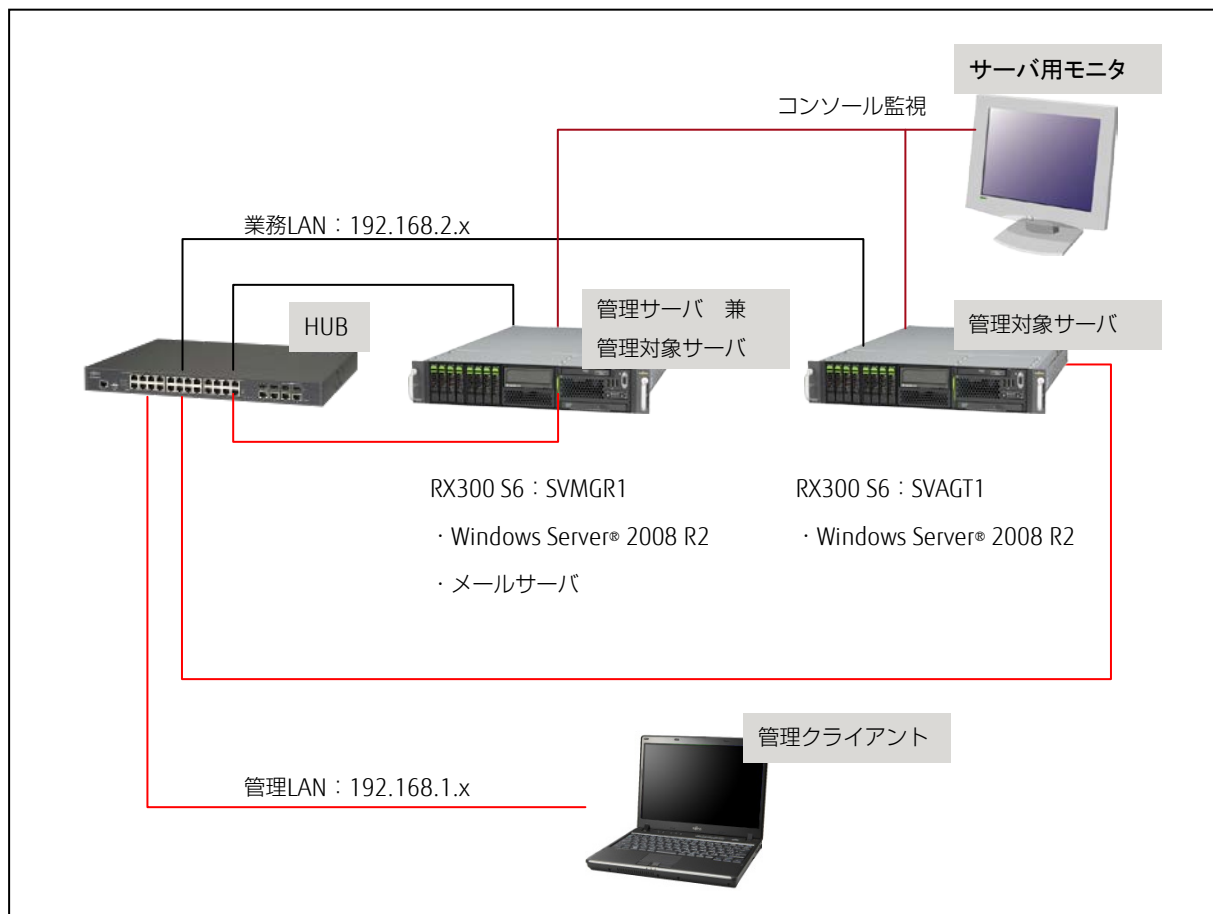
シナリオ 2：

企業 A のファイルサーバでは、ディスクアレイを構成しています。運用の継続性を維持するため、ディスク異常をいち早く認識し対応できるよう、ディスクに異常があった場合は管理者にメールが送信される設定を行います。管理者は ServerView Operations Manager からメールを受け取ることでディスク異常を認知し、調査を行い、ディスク交換などの対応を行います。



1.2. マシン構成

シナリオの基本構成となる環境は以下のとおりです。



2. サーバ監視・管理の設定

2.1. ハードウェアの異常監視

ServerView Operations Manager では、サーバのハードウェアから通知されるアラームを管理することにより、ハードウェアコンポーネントの異常監視が可能です。本章では、その一例としてアレイコントローラからのハードディスク異常を ServerView Operations Manager で監視する方法をご紹介します。

2.1.1. ServerView RAID Manager を用いた監視

ServerView RAID Manager が通知するアラームを ServerView Operations Manager で管理することにより、管理者はハードディスクの故障にもすばやく対処できます。『シナリオ 0：ServerView operations Manager のインストール方法』の設定が完了している場合、ServerView RAID Manager からのアラームは自動的に ServerView Operations Manager に通知され、さらに OS のイベントログに書き込まれますので、ServerView RAID Manager において設定することは特にありません(注 1→P.10)。また、ServerView RAID Manager からのアラームにより、ディスク異常が発覚した場合は、ServerView Operations Manager から以下の手順で ServerView RAID Manager を起動し、ディスク異常の具体的な内容を確認できます。

ServerView RAID Manager の起動

1. SVOM のサーバリスト画面から、対象サーバを選択し、右の画面を表示します。「システムステータス」→「外部記憶装置」→「RAID 設定」をクリックします。



<p>ServerView RAID Manager へのログイン</p> <p>2. ユーザ名とパスワードを入力して、「ログイン」をクリックします。ここで入力するユーザ名は、raid_adm グループに所属している必要があります。</p> <p>(注 2→P.10) (注 3→P.10) (注 4→P.10)</p>	
<p>監視システム内容の確認</p> <p>3. ログインすると、右の画面が表示されます。左に階層表示されるハードウェアを選択し、右側に表示される詳細情報で状態を確認します。</p>	

注1) ServerView RAID Manager は、ServerView Agents を介して OS にイベントログを書き込みます。

ServerView RAID Manager 単独では、イベントログによる通知はされません。

注2) 初めて ServerView RAID Manager を起動したときは、証明書のエラー画面が表示されますが、操作に影響はありません。「このサイトの閲覧を続行する」を選択し、操作を続行してください。詳しくは、ServerView RAID のマニュアルを参照してください。

注3) ユーザ名には、『シナリオ 0：ServerView Operations Manager のインストール方法』で作成した「管理ユーザ」を指定してください。

詳しくは、「2.2.2. 管理ユーザの設定」を参照してください。

注4) シングルサインオンの設定を行っている場合は、ログイン画面は表示されず、手順 3. の画面が直接表示されます。

免責事項

免責事項

- ・ 著作権・商標権・その他の知的財産権について

本資料は、著作権・商標権・その他の知的財産権で保護されています。個人的に使用する範囲で本書をプリントアウトまたはダウンロードできます。ただし、これ以外の利用（資料の改変、御自分のページへの再利用や他のサーバへのアップロードなど）については、当社または権利者の許諾が必要となります。

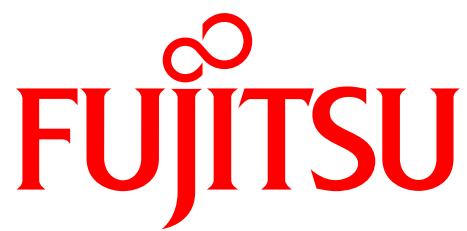
- ・ 保証の制限

本資料について、当社は、その正確性、商品性、御利用目的への適合性等に関して保証するものではなく、その御利用により生じた損害について、当社は法律上のいかなる責任も負いかねます。本書は、予告なく変更・廃止されることがあります。

商標登記について

- ・ Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。
- ・ インテル、Intel は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。
- ・ 記載されている会社名、製品名等の固有名詞は各社の商号、登録商標または商標です。
- ・ その他、本資料に記載されている会社名、システム名、製品名などには必ずしも商標表示を付記していません。

PC サーバ FUJITSU Server PRIMERGY Web ページ：<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/>



shaping tomorrow with you